

学校だより



# ゆめは大きく

尾張旭市西の野町5丁目1番 <https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/>

尾張旭市立  
旭小学校  
第5号  
令和2年  
10月7日

TEL0561-53-2035

## 命の大切さ

校長 浅野 謙一

新型コロナウイルスの感染拡大による休校で、どうしても学習の遅れをどのように取り戻すかということばかりに注目しがちになってしまいます。学習の遅れは後々取り戻すことができます。学習ばかりに力を入れすぎるのではなく、むしろ力を入れるべきところは、子どもの様子をしっかりと観察して、子どもの声に耳を傾けることです。小学校は、子どもたちが大人になっていくために必要な「基礎」を身に付ける場所です。その「基礎」の中で何よりも大切なのが人間関係です。集団の中でうまくいかなかったり、思い通りにいかなかったりしたときに、人との関わり方を学ぶことができます。集団で集まって学ぶことの意味はそこにあります。

校長室の前に水槽があります。この水槽には4匹の金魚がいて、お世話をしてくれる子どもたちが、えさをあげたり、水をきれいにしたりしてくれています。放課には、この金魚を眺めている子どもの姿を見ることもあります。ところが、夏の暑い時期が過ぎた頃から4匹のうちの1匹の金魚に元気がなくなり、2、3日後には死んでしまいました。そして、その後続けて2匹の金魚が死んでしまいました。4匹の金魚のうち3匹が同じ時期に死んでしまいました。その度にお世話をしてくれている子どもたちが、お墓を作って金魚を天国に送ってくれました。この3匹の金魚たちは、少なくとも7年はこの水槽で元気に泳いでいたようです。子どもたちから「どうして死んじゃったの」と聞かれ、「寿命かもしれないね」と答えると、「寿命って何」と再び質問され、少し答えに困りました。「金魚も人間も全ての生き物には命があります。でも、その命は永遠ではなく、限りがあって、いつかは燃え尽きてしまいます。その命の決められた期間が寿命です。」と答えましたが、少し難しかったようで、聞いていた子どもたちは首をひねっていました。

学校には教科学習よりも大切なものがあります。3匹の金魚の死は、悲しい出来事でありましたが、その死から命の大切さを学ぶことができればと思います。今、校長室の前の水槽には、天国に行った3匹の金魚の代わりに金魚が、元気に泳いでいます。



## 秋晴れの旭リンピック

10月2日（金）に秋晴れの中、旭リンピックが開催されました。新型コロナウイルスの影響で、例年とは違った形での開催となりましたが、保護者の皆様の温かい見守りのなか、どの学年の子どもたちも練習してきた成果を十分に発揮することができたと思います。ご参観いただきありがとうございました。



【徒競走（低学年）】



【鬼のパンツリレー】



【徒競走（中学年）】



【台風の目】



【応援合戦】



【多人数リレー】



【借り人、大玉転がし競争】



## お知らせ

### 【授業参観】

新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、11月4日（水）に予定されていた授業参観は中止します。お子様の学校での様子については、いつでもお尋ねください。

### 【個人懇談会】

11月16日（月）、17日（火）、19日（木）、20日（金）の4日間での実施予定です。

### 【冬季休業日】

12月26日（土）～1月6日（水）

12月25日（金）までは、通常授業で給食あり。

1月7日（木）から3学期開始。通常授業で給食あり。

### 【外トイレの改修工事終了】

体育館トイレに引き続き、外トイレの改修工事も終了しました。次に使用する人のことを考え、大事に使用してください。